



山梨大学 新技術情報クラブ



～ コーディネータコラム ～

2020/5/8

【令 02-3 号】

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。

メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

社会連携・知財管理センター

副センター長・統括コーディネータ 還田 隆

新技術情報クラブ会員の皆様

お世話になります。

COVID-19 の緊急事態宣言が全国に出されてからはや3週間が経ちまして、緊急事態宣言が延長されました。地域ごとに自粛に温度差が生じていくようですが、まだまだ気を引き締めなければならない状況の中、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、本学も他大学同様に、職員ばかりではなく新入生も含めて学生に自粛要請が発令されておまして、昨年では最もキャンパスが賑わっていた4、5月に於いてほぼ人影が見えない状況です。

この危機的状況の中で新しいビジネスや取り組みが芽を出し始めておりまして、宅配が盛んになったのもその一つと言えます。

さて本学でもテレワークや Zoom 会議などが定着しつつあり、授業も e-learning 主体となってきております。自主学習能力や学習意欲の個人ごとの差異が1年後に大きく開いてくるであろうと予測しております。

授業はともかく、理科系ではどうしても実習・実技そして演習などで遠隔をし辛い側面を持っております所、各研究者ごとに工夫を凝らしているとのこと。

このような教育現場になっておりますので、新しい教材を作ったり遠

隔での個別指導やレポート・テストなど、ここ1, 2か月に各教員には大きな負荷がかかっておりまして昨年度立てた本年度計画も見直しながら進めているところです。

現状では、カリキュラム全体が後ろ倒しで夏休みが短縮になるようです。

ご存じのとおり、小中高では秋入学のことが国に提言されているようです。

本学では、留学生入試・編入学試験が秋に行われております。しかし、留学生の数は限定的ですので実施可能な状況にあります。これをすべての入学志願者に対して行うことは極めて大きな変革になりますから、長い年月の議論と準備が必要ではないかと思えます。

大きなスポーツ大会や会社の就職活動なども併せてシフトしなければならないので、季節との関係も変わって日本の文化にも影響があるかもしれません。

さて、報道で伝わっておりますが、医療現場は大変な状況で患者さんを助けようとする医療チームの中から感染者も出てまいりまして非常に手が足りなくなってきました。また医療用衣服やマスクに至るまでも不足してきてしまっております。山梨大学病院でも同様です。このような中でいくつかの支援が始まっておりますので、ぜひご協力いただければ幸いです。

<https://www3.nhk.or.jp/lnews/kofu/20200430/1040009597.html>

<https://www.yamanashi.ac.jp/25869>

[https://www.satofull.jp/static/oenkifu/corona\\_virus.php](https://www.satofull.jp/static/oenkifu/corona_virus.php)

---

## インフォメーション 目次

---

- 01: トピックス ( 1 件)
- 02: 助成事業および公募情報 ( 3 件)
- 03: 事務局からのお知らせ



- 01 トピックス ( 1 件)
- 

◆内田裕之クリーンエネルギー研究センター長が公益社団法人電気化学会「電気化学会功績賞」を受賞

令和2年3月18日(水)、内田裕之クリーンエネルギーセンター長が公益社団法人電気化学会「電気化学会功績賞」を受賞し、電気化学会フェローの称号を授与されました。

これらは、長年にわたる燃料電池分野における研究成果に加え、学会誌編集委員長、庶務理事、燃料電池研究会主査などを務めた実績が認められたものです。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.yamanashi.ac.jp/25837>



■02 助成事業および公募情報 ( 3 件)

---

◆【経済産業省】新型コロナウイルスに関する支援策

経営者の皆さまが直面している経営上の各課題に対して利用可能な支援メニューを紹介するリーフレットを業種ごとに作成しました。また、その他さまざまな支援策、相談窓口等を設けています。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/covid-19/index.html>

～上記支援策のうち「持続化給付金」および相談窓口(県独自)～

●持続化給付金について

<https://www.meti.go.jp/covid-19/jizokuka-kyufukin.html>

①持続化給付金申請支援 窓口の設置について (県独自)

5/7(木)以降、県内23商工会と2箇所の商工会議所に相談窓口を設置。

予約制で申請の相談支援を行います。

パソコンが不慣れで、窓口での対面支援が必要な場合を想定しています。

【持続化給付金相談専用ダイヤル 055-223-1321】

[https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/coronavirus/info\\_coronavirus\\_consultationtoemergencymeasures.html](https://www.pref.yamanashi.jp/koucho/coronavirus/info_coronavirus_consultationtoemergencymeasures.html)

②サポート連携拠点事業の集中的支援について

プロジェクトマネージャーがサポート拠点事業での支援先について、経営状況をヒアリング。

◆【経済産業省】令和2年度「地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」の公募について

単独もしくは複数の中小企業が、複数の地域に共通する地域・社会課題について、技術やビジネスの視点を取り入れながら、複数地域で一体的に解決しようとする事について、その経費の一部を補助する事業

を行います。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/2020/k200422001.html>

◆【山梨県中小企業団体中央会】令和2年度「中小企業組合等課題解決指導事業」の応募について

中小企業や組合等が単独では解決することが難しい問題に対して、調査やその実現化について、補助を行うものです。

事業の計画から実施、成果の活用まで一貫してサポート(伴走型支援)します。

詳しくは下記 URL よりご覧ください。

<http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/組合等課題解決指導事業>



■03 事務局からお知らせ

---

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。

会員会社様の持っておられる技術課題を伺います。

ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

